

1 活動名・教科等

「夢や希望を広げよう」 総合的な学習の時間

2 期日・時間

11月11日(金) 1時間(8:20~9:05)

3 場所

細島小学校 6年生教室

4 講師名

松林 瑞樹さん(旭建設株式会社)

5 参加者(当日参加する全て)

6年生(13名)

6 活動のねらい

- ・社会人にとって大切なことは何かを知るとともに、夢や希望をもって将来のことを考えようとする力を身に付ける。
(育てたい5つの力)
- ・講師の話をきっかけに将来の夢やなりたいものについて考えることができる。
(夢にむかう力)
- ・努力すれば自分のできることは広がっていくと考えることができる。
(夢にむかう力)
- ・日向地区の素晴らしさや素晴らしい人材を知っている。
(地域を愛する力)

7 児童に伝えてほしいこと(具体的に)

- ・夢や希望をもつことの大切さ
- ・人として、社会人として大事なこと(あいさつ、コミュニケーション)

8 当日までに指導したこと

- ・児童が自分の将来の夢について話し合う時間を設けた。
- ・旭建設株式会社の仕事内容についてHPを参考にして知らせた。
- ・去年も同じように、旭建設の方が来られて話をしていただいたことを知らせた。
- ・事前に子どもたちに対して旭建設の方に聞きたい内容をアンケートで聞いておいた。
(例: 小学校の頃、働き出した経緯、旭建設の仕事等)

9 当日の流れ

学習内容及び学習活動	指導者の動き・指導上の留意点	準備等
1 講師の紹介 - 旭建設株式会社 松林 瑞樹さん 2 講師にインタビュー  ○子どもの頃の話 - 勉強面 - スポーツ面 - 夢や目標 - その他 ○仕事の話 - 夢や目標 - 旭建設の仕事（精神面） - 旭建設の仕事（具体的な面） - 人間関係 ○講師への質問 3 旭建設の職業観 ○「3K+G」  4 感謝の言葉	- 会社と講師の紹介を行うことで、本時への意欲へとつなげる。  - 前もって児童に質問を考えさせたものを元にして、質問を行う。 - 担任がインタビュー形式で質問を行っていく。  - 企業に打合せに行った際に、掲示してあった資料を取り上げることで、旭建設の仕事に対する取組の仕方について児童に知らせる。 - 感謝の言葉として、児童全員に感想を伝える。	テレビカメラ

10 事後指導

- ・ 本時の活動を振り返った後、松林さんにお礼の手紙を書く。
- ・ これから「夢や希望を広げよう」の内容で、将来の夢について作文に書かせたり、講師の方に話をしてもらおう際は、関連させる。

11 児童の感想

【活動を通しての感想】(すごい、さすがだ、素晴らしい...と思ったこと、これから生きたいこと)

私は、今回の活動を通して、学んだ事が多いです。それは「勉強は楽しいと思ってるのか、勉強は楽しくないと思ってるかで全然ちがう」という事です。私が、1番苦手な教科は算数です。私は、自分がスラスラと問題を解けた時、算数楽しいと思いつつ、問題が解けないとイヤだなと思います。それでも、がんばって解くと活動を通して思いました。そして旭建設には、3K+Gという言葉がありました。最初聞いた時は、3K+Gって何?と思っていました。3K+Gは、カッコいい・感動する・かせげる・元氣のあるという意味でした。私はすごいと思いました。今回の活動で、松林さんの話を聞き、これからの生活に生かせる事が沢山ありました。算数で、問題が解けなかったりした時は、今回の活動で学んだ事を思い出して、がんばりたいと思います。今回は、ありがとうございました。

【活動を通しての感想】(すごい、さすがだ、素晴らしい...と思ったこと、これから生きたいこと)

私は、今日の松林さんの話を聞いて、学んだことが2つあります。1つ目は、子どものころの話です。自分の夢が私はまだ決まっていなくて、何があるのかなと思っていたけど、夢は、小学校、中学校、高校で、いろんなことがあるんだなと思いました。将来する仕事は、自分が楽しいと思えるような仕事をしたいです。2つ目は、今の仕事の話です。3K+Gが私はすごいなと思いました。3K+Gがあるのと、とっても明るく楽しい所になるのかなと思いました。給料やいろんなことを教えてもらって、すごくおもしろかったです。もし、自分が将来する仕事でも、達成感を感じてみたいです。今日は、いろんなことを教えてくれて、ありがとうございました。

12 授業者の気づきや学び

- ・ インタビュー形式で担任が授業を行ったことで、児童と講師の様子や反応を見ながら進めることができた。
- ・ 児童の感想で、「夢は変わってもいいと知ったので、これから変わるかもしれないけど見つけていきたい。」という内容があった。将来について前向きに考えることができる児童が増えていい話を聞くことができたと感じた。
- ・ 子どもの頃の話、仕事の話だけでなく、後半に旭建設の職業観「3K+G」について話をしてもらったことで、児童の仕事に対するイメージが豊かになったことが、感想からわかった。